

平成27年4月定例教育委員会会議録

1. 開催日時 : 平成27年4月28日(火) 午前9時00分～午前10時03分

2. 会場 : 白杵市役所 白杵庁舎3階 301会議室

3. 出席委員 : 教育委員長 垂井 美千代
教育委員長職務代理者 野上 美智子
委員 神田 岳委
委員 渡辺 義弘
教育長 齋藤 克己

4. 出席職員

教育次長兼教育総務課長	廣田 誠一	文化・文化財課長	川野 義明
学校給食課長	齋藤 隆生	社会教育課長	矢野 晃
教育総務課総括課長代理	佐藤 忠久	学校教育課課長代理	齋藤 正雄
学校教育課指導主事	安東 憲雄	教育総務課副主幹	宇都宮 律子

5. 傍聴人 なし

6. 開会宣言

(事務局)

開会に先立ちまして、本日の出席委員数の報告を行います。

本日の出席委員 5名、欠席委員 0名で、出席委員が過半数に達しましたので、白杵市教育委員会会議規則第3条の規定により本会は成立となりました。

(委員長)

これより白杵市教育委員会、平成27年4月定例会を開催いたします。本日の委員会の会期は本日限りと致します。会議録署名委員に、神田委員、渡辺委員の2名を指名致します。

7. 教育長報告

(委員長)

次第2の教育長の報告を求めます。

(教育長)

4月の主な報告事項としましては、人事異動、各幼稚園・小中学校の入学式、白杵市歴史資料館が開館1周年を迎えたことなどがあります。その他の事項につきましてはお手元に配布しております4月行事報告表をご確認ください。以上で報告を終わります。

(委員長)

教育長の報告が終わりました。質疑等がありましたらお願いします。

(無しの声あり)

(委員長)

無ければ以上で教育長報告を終わります。

8. 議案

(委員長)

これより次第3の協議事項に移ります。

(委員長)

報告第3号の専決処分の承認を求めることについて説明をお願いします。

(社会教育課長)

臼杵市スポーツ推進委員の任期満了に伴い、新委員の委嘱について専決処分をしましたので報告し承認を求めます。新しい委員の名簿と任期につきましては議案綴の2ページに名簿を掲載しておりますのでご覧ください。

(委員長)

説明が終わりました。質疑等がありましたらお願いします。

(無しの声あり)

(委員長)

報告第3号の専決処分については、承認するということよろしいですか。

(異議なしの声あり)

(委員長)

それでは、承認することといたします。

次に第23号議案の文化財調査委員の委嘱について説明をお願いします。

(文化・文化財課長)

文化財調査委員の任期満了に伴い、新たに委員の委嘱を行う必要があるため議決を求めます。今回委嘱する委員については全員再任となります。任期は平成27年5月1日から2年間です。

(委員長)

説明が終わりました。質疑等がありましたらお願いします。

(無しの声あり)

(委員長)

第23号議案の文化財調査委員の委嘱については、承認してよろしいですか。

(異議なしの声あり)

(委員長)

それでは、承認することといたします。

次に第24号議案の臼杵城跡保存整備委員会委員の委嘱について説明をお願いします。

(文化・文化財課長)

臼杵城跡保存整備委員会委員の任期満了に伴い、新たに委員の委嘱を行う必要があるため議決を求めます。今回委嘱する委員は全員再任となります。任期は平成27年5月1日から2年間です。

(委員長)

説明が終わりました。質疑等がありましたらお願いします。

(無しの声あり)

(委員長)

第24号議案の臼杵城跡保存整備委員会委員の委嘱については、承認してよろしいですか。
(異議なしの声あり)

(委員長)

それでは、承認することといたします。
次に第25号議案の臼杵市図書館協議会委員の任命について説明をお願いします。

(社会教育課長)

臼杵市図書館協議会委員の任期満了に伴い、新たに委員の委嘱を行う必要があるため議決を求めます。
5名委員のうち再任3名、新任2名となっております。任期は平成27年5月1日から2年間です。

(委員長)

説明が終わりました。質疑等がありましたらお願いします。
(無しの声あり)

(委員長)

第25号議案の臼杵市図書館協議会委員の任命については承認してよろしいですか。
(異議なしの声あり)

(委員長)

それでは、承認することといたします。

9. 学力向上について

(委員長)

次第4の学力向上について説明を求めます。

(教育次長)

小学校及び中学校の適正配置計画につきまして、事前にお配りしております「臼杵市立小中学校のこれからのあり方」にてご説明いたします。

平成27年3月31日に臼杵市教育問題検討会議より受けた答申をご説明いたします。
資料の8ページと9ページをご覧ください。主な内容としては、中学校の適正規模については最低でも全校で1学年2クラス以上の6クラス以上となることが望ましい。小学校については平成18年の計画にある「可能な限り地域の子どもは地域で育てる」という基本的な考え方と、「国の学級編成基準等から適正な授業集団の下限を5人とし、これを下回る学年(学級)を有する学校を適正規模の対象校とする」という指針を今後も踏襲すること、統合した小学校が時を置かずして再度統合対象校となるようなことの無いよう、将来推計を慎重に行うこと。今回の答申内容を十分に吟味した上で、通学区域の見直し計画と適正配置計画の立案に速やかに着手し、将来に向けた展望をできるだけ早期に市民に向けて示すよう求めるものであるということです。

次に議案の6ページをご覧ください。その答申を受けまして、小学校については授業集団が5人に満たない学校、佐志生小・川登小・南野津小について保護者との話し合いを行い、児童にとってより良い環境について議論を進めていきます。中学校については1学年1クラスになる南中について検討して行かなければなりません。まずは小規模特認校としての検証を行い、その後保護者の意見等を参考にしながら適正配置計画を策定していきます。この議案には記載していませんが、臼杵と野津の公立幼稚園についても市長部局と連携を取りながら今年度中に方向性を出していきたいと考えています。

(委員長)

先の豊洋中学校の件についてですが、生徒の意見を丁寧に聴取したことや、期間も短かったため制服や体操服のこともあり、保護者への聞き取りや説明会などを早めに重ねた点はとても評価できると思います。しかし地域の方々への説明が少し遅れたのではないかと、突然聞いてびっくりしたというようなこともありましたので、今後はその点を十分に踏まえて、生徒や保護者への説明と同時進行で地域の方への説明もお願いします。それから、一回統合したのに時を置かずして別の学校と再統合という計画性のないようなことはしないでほしい。中学校については学区の見直しや、より良い学習環境を整えるということなど整合性を考えながら進めていくのが良いと思います。

次に学力向上について説明をお願いいたします。

(学校教育課課長代理)

お手元に配布しております「平成27年度臼杵市小中一体教育実施要領」に沿ってご説明いたします。小中一体教育については昨年度、北中校区のみで実施しておりましたが、今年度からは全市で取り組んでいくことになりました。目的・対象・実施開始日等については資料のとおりです。具体的な取り組み方法や全体図については資料の2ページをご覧ください。中学校を卒業する時点で自立できる子どもを育てるということを目指しており、それを達成するための目標を各年代において設定しております。次に資料3ページをご覧ください。こちらには子どもの学びをつないでいく方法と小中一体教育の確立に向けた3カ年計画を示しております。今年度はまず「普及」ということで枠組み作りの支援・好事例の紹介などをしていきます。28年度は「構築」ということで好事例の還流、29年度については「定着」と「発展」ということを目標とし、効果の検証や見直しを行い今後の小中一体教育を発展させていくという計画を立てています。

(委員長)

ご質問等のある方はお願いします。

(渡辺委員)

昨年度、北中校区をモデルとして小中一体教育を行ってきましたが、その成果や課題などの資料はありませんか。

(指導主事)

資料としては今回用意しておりません。以前の教育委員会でも報告いたしましたが、後日お渡しできるよう用意いたします。先日、小中乗り入れ授業をしていただいた北中1年の学年主任の教諭に伺いましたが、子ども達が知っている先生がいるという安心感や、中学校に上がる前に子ども同士が知り合うことができ、仲よくなっているということで中学進学後の雰囲気は良くなっているとのことでした。

(渡辺委員)

視覚的に見たいと思いますので、できれば資料をほしい。これまでモデルでやってきてどうだったのかという結果があつて今年から全市でやるということがあるのではないかと思います。教育関係者だけでなく、地域や家庭がどれだけ理解しているのかということも知りたい。これは私の憶測ですが、教員がさらに多忙になっていないでしょうか。とても良い取り組みだと思うが、現実はどうなのかを把握できているのかを知りたい。北中ブロック以外の人たちも現実はどうだったのかを知りたいのではないかと思います。

(教育長)

ご意見ありがとうございます。確かに教員は多忙を極めておりますので、家庭や地域を巻き込んで子どもを育てていくことをやっていきたい。そのためにどういったことが出来るかを考えています。昨年度北中で行った事業のなかでこれは良かったがこれはあまり成果が出なかったということを他の

ブロックの学校に参考にしてほしい。それぞれの学校には独自のやり方があるでしょうから、取り入れる部分とそうでない部分が出てくると思います。26年度にやった北中の成果や課題を27年度それぞれの学校の導入部分にしてほしいのです。いずれにしろ目標は家庭や地域を巻き込むということです。その力を借りながらやらないと、先生方だけに頼っても子どもは育たないと思っています。

(渡辺委員)

今年度から協育コーディネーターが配置されているが、学校とそなたちとの連携がどこまでできるのか、コーディネーターの方たちがどれだけその意識があるのかそこが家庭と地域をつなぐポイントだと思うので色々な面で難しいところはあるかもしれませんが、そこまで考えてやってほしいと思います。

(教育長)

コーディネーターの皆さんにもどのようなことをやるか勉強してもらおうようにしています。いきなりやれと言われても難しいでしょうから2学期くらいから調査などに取り掛かり、コーディネーター同士で意思統一をして取り組みをしていくようにします。ご意見ありがとうございます。

(委員長)

他に意見がありますか。

(野上委員)

ブロックについてですが、先ほどの小中学校適正配置がどんなスケジュールで進んでいくのかということと29年度に小中一体教育が定着したときに、南ブロックが窮屈な感じがします。この中に下南小も変更することができないのかという意見が委員さんの中にあがってきていたことなどを考えたときに、3年間臼杵南小と南中だけで進めていくのは気になります。他のブロックはいろんな小学校が入っているのと比較しても南ブロックは少し検討する必要があるのではないかと思います。

(教育長)

確かに悩ましいところで、現在もコミュニティスクールとして臼杵南小と南中で取り組んでいるのですが、子どもの数も減少しているため野上委員のご指摘のとおりきつい状況です。もう一つ、東中も臼杵小が主になっており福良小からの進学は少数となっています。今回福良は西ブロックに入る可能性が高いようですが、個人的には東ブロックに入ってほしいと思っています。以上2つのブロックについては小学校は1校という状況で、中でも南ブロックについては小中一体教育のイメージがわからないのではないかと懸念されます。今後適正配置などの方向性などがはっきりするまでは、そういうところは他のブロックとの交流などの仕組みも視野に入れながら取り組んでいかなければならないと考えております。

(神田委員)

私も渡辺委員の意見と同じです。昨年一年間北中が良い意味でも悪い意味でもモデルケースとなっていくと思います。様々な取り組みのメリットやデメリットはどうなっているのか、それが各学校で活用できればいいと思います。ここにはあがっていないが北中ではもっと色々やっています。養護学校や地域の老人会などの連携など、教育委員の皆さんが知らないことも沢山あると思いますので、書き出すのも大変かと思いますがぜひ取り組みの資料作成をお願いします。

(委員長)

北中がやったから良かったので全校でやったらよいというのではなく、それぞれの学校や地域の特色や協力の仕方や体制があるわけですから、取り組む方法は学校ごとに違って良いと思うんです。小中一体教育ということに臼杵市は全市を挙げて取り組んで方向性を示した。その中で各ブロックができることをやってくださいと。それには北中がやった成果と課題はペーパーとして出しておくといいと思いま

す。先日東中に学校訪問に行った際に、すでに臼杵小と連携して小中一体の出発をしていると聞きました。どのような形でやっているのか尋ねると、長期休暇の前に校長・教頭と他にも何人かの小中の教諭が集まって休暇中はこういうことに気を付けようとか PTA にも伝えようとか話し合いを行うそうです。全市を挙げて取り組んで一応の方向性を示して説明しておけば、あとはそれぞれの学校の独自のやり方で出来ることをやって行く。そして食育やしつけなど家庭ですべきところは家庭にお願いする。そして良いことを無理のない範囲で行い、今までやったこと、できること、これからもやって行かねばならないことを小中一体教育の確立に向けてその視点に合わせてやっていくということをお願いしたいということではいかがでしょうか。人数や学校数で出来ないこともあるでしょうから何でも北中のようにやれとは言えないと思いますので。

(指導主事)

わかりました。

(委員長)

他にご意見はありませんか。無いようでしたら6の教育予算等についてへ移ります。ご意見がありましたらお願いします。

(渡辺委員)

適応指導教室にインターネットのできるパソコンを設置してほしい。小学校の理科の授業で気象衛星ひまわりのスケッチをするというものがあるのですが、それが無いため自分のスマホで見て対応しています。事務上においても市教委ともメールでやり取りが出来たりすると良いと思うのですが。パソコンはあるのですがネットにつながるまでが非常に遅く、動きが良くないのは何が悪いのかわかりません。きずなの事務室には LAN ケーブルが来ていますが。活動室にはケーブルが来ていないようです。途中で切れているのかもしれないです。

(神田委員)

ケーブルテレビが来ていたら環境も整うのではないのでしょうか。

(教育総務課総括課長代理)

調査して改善したいと思います。

(委員長)

他にはありませんか。

それでは以上で、平成27年4月定例教育委員会を閉会します。